

地域協議会委員向けアンケート結果概要について(参考)

第2回 ひばりが丘中学校及び田無第二中学校通学区域見直し等
 に関する地域協議会 資料2
 平成29年5月25日 教育企画課

平成29年2月実施

委員人数 27名 回答者 22名 回答率 81%

Q1 新しい通学区域を設定するにあたり、特に考慮すべき点は、次のア～キのうちどれですか。いずれか3つを選択し、その順位を記入してください。

考慮すべき点	合計	1番	2番	3番
ア 通学区域のわかりやすさ	11	3	6	2
イ 通学距離	15	5	3	7
ウ 通学路の安全性	14	8	3	3
エ 生徒数の規模(バランス)	14	3	6	5
オ 面積	0	0	0	0
カ 交友関係の持続性	6	1	2	3
キ その他	0	0	0	0

(回答数 20名)

Q2 新しい通学区域を設定するにあたって、課題として捉えていることや協議すべきと考えていること等がありましたら御記入ください。

主な回答

- ・これまで進学していた中学校に、進学することができなくなる家庭の理解
- ・兄弟が両中学校に分かれる、または開校以前にひばりが丘中学校に入学するか等の課題がある
- ・地域協議会でベストな選択ができたとしても、不満を持つ地域の方は必ずいると思います。理解を得ていくための情報発信は、丁寧に細やかにしていくことが重要だと感じます。
- ・通学路の安全性が一番だと思います。中学生は部活などで帰宅が遅くなることも多いので。
- ・基本的には道路を境に分けるなど分かりやすいことが望ましいと考えますが、学校経営から見た規模、校舎のキャパシティは当然考慮すべきだと思います。

Q3 生徒、保護者、地域市民への配慮について、具体的な配慮の対象・内容・期間等がありましたら御記入ください

主な回答

- ・できるだけ早い時期の決定と公表
- ・学区の変更時期が、旧泉小の児童、現3年生と4年生が、中学校の2年生と3年生になる年度となる。わずかの期間で2回学校の変更を余儀なくされる結果となってしまう。対象児童・生徒と保護者のケアが必要となる。
- ・特に遠い地域から通学する生徒、保護者のための説明が必要
- ・兄・姉の制服、体操着などが下の子で利用できるのは助かるので、きょうだいがいる期間は同じ学校で通えるよう配慮できた方がよい。
- ・新整備の整った学校と既存の学校間での教育環境の違いについても、どちらにおいても子どもたちにとって充実した学校生活を送れるようにしてほしい。
- ・(以前の区域の学校への思いが払拭できない場合があると思いますが、) 学校選択制度があるということを知りたいと思います。
- ・通学路が変わる年に中1になる生徒のフォローは、小学校にいる間から交流会をするなどの必要がある。

Q4 その他、通学区域に関して、質問・意見等がありましたら御記入ください。

主な回答

- ・丁寧に説明責任を果たし、様々な考えの方に理解いただく作業が必要
- ・地域との結びつき等、生徒の生活環境について、通学区域の決定後、町内会等へ打診し、配慮、協力を求めて進めていけたら良い。
- ・大地震発生時等の安全性を考慮して、通学路や通学方法を定めるべき。
- ・新しく建てられた学校には、誰もが入りたいと思う。学校選択制度を利用し、希望の学校へ行けたりするため、生徒のバランスと通学路の安全が大事である。
- ・在学途中で学校を変更する場合、制服等の移行措置があるのか。